











① 事業実施報告書詳細

学校名 北九州市立大蔵小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
8時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> 大蔵のまちの自慢について話し合い、グループごとに調べてみたいことを決める。 		<ul style="list-style-type: none"> 自然がいっぱい。夏には、川でホタルがたくさん見れる。お酒や醤油をつくっている工場がある。
25時間	地域 教室	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に基づいて、大蔵のまちの自慢調べをする。 分かったことを発表資料にまとめ、発表し合う。 	  	<ul style="list-style-type: none"> 大蔵川の自然について お酒や醤油をつくる工場について 祭りや行事について 子ども見守り隊について 地域の人が川をきれいにする努力をしている。 たくさんのお酒を少ない人数でつくっている。 夏にたくさんのお祭りがある。何百年も続いている。 見守り隊の人は夜もパトロールしている。
8時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> 大蔵のまちの自慢についてまとめ、案内マップづくりの計画を立てる。 	 	<ul style="list-style-type: none"> よそから来た人や地域の人に大蔵の自慢を知ってもらえる案内マップをつくろう。 絵や説明文を入れて分かりやすくしよう。
29時間	教室 地域	<ul style="list-style-type: none"> 「大蔵のまち自慢案内マップ」をつくり、発信する。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の方において人がたくさん通る場所にマップを取り付けてもらおう。 案内マップを見た人から感想を聞きたいな。

② 学習指導案

単元名 (全 70 時間)	自まん発見！～大くらたんけん隊～ 70時間
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵のまちのよさや特色について関心をもち、進んで調べたい課題を見付け解決しようとする。 ○ 課題解決のために、見学やインタビューなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・分析したりすることができる。 ○ 大蔵のまちの自慢として調べたことをもとに、そのよさや特色について理由を挙げ、発表できる。 ○ 大蔵のまちの自慢調べを通して、地域の人々とのかかわりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとする。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 大蔵のまちの自慢について話し合う。 2 大蔵のまちの自慢の中で自分たちが調べてみたいことを決める。 3 自分たちの課題に基づいて、大蔵のまちの自慢調べをし、発表し合う。 4 大蔵のまちの自慢を知らせる案内マップをつくる計画を立てる。 5 「大蔵のまち自慢案内マップ」をつくり、地域に発信する。
参考資料 準備品 実施場所等	<p>参考資料：大蔵地区を紹介したホームページ 郷土資料・写真</p> <p>準備品：デジタルカメラ ビデオカメラ 取材ノート</p> <p>実施場所：大蔵川 地域の商店 酒造工場 醤油工場 公共施設 神社等</p>

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
8時間	1 大蔵のまちの自慢について話し合い、大蔵のまちの自慢の中でグループごとに調べてみたいことを決める。	○課題を見付けるために地域内・外の人に大蔵のイメージについてのアンケートを取り、その結果等も参考にしながら調べたい課題を決めることができるようにする。	○大蔵のまちの自慢の中で自分たちが調べてみたいことを決めることができる。 (ワークシート・発言内容)
25時間	2 自分たちの課題に基づいて、大蔵のまちの自慢調べをする。 3 分かったことを発表資料にまとめ、発表し合う。	○課題解決のために見学やインタビューなどをして情報の収集を行うようにする。 ○各グループの発表を受けて、課題別のグループで大蔵の自慢と思った理由を出し合わせ、大蔵の自慢の価値付けを行っていく。	○見学やインタビューなどをして情報収集することができる。 (見学メモ・行動観察) ○調べて分かったことを発表資料にまとめることができる。 (発表資料・発言内容)

8時間	4 大蔵のまちの自慢を知らせる大型案内マップをつくる計画を立てる。	○大型マップに掲載する自慢の場所や紹介内容について話し合い、「大蔵のまち自慢案内マップ」づくりの計画を立てさせる。	○マップづくりの計画を立てることができる。 (ワークシート・発言内容)
29時間	5 「大蔵のまち自慢案内マップ」をつくり、発信する。	○見つけた自慢を大型マップにまとめ、地域内外の人に発信する活動を取り入れ、地域を愛し大切にしようとする気持ちを一層高めていくようにする。	○まち自慢を大型案内マップにまとめ、地域内外の人に発信することができる。 (行動観察・作品)

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>70時間の単元の学習を大きく「課題の設定」→「情報の収集」→「整理分析」→「表現・まとめ」のサイクルで展開し、学習を通して、地域の景観や施設、まちづくり、文化・伝統等に着眼させながら大蔵のまちのよさや特色について考えることができるようにした。「情報の収集」の段階では、実際に現地に出向き、調査・見学、インタビューをさせたりしながら地域のよさを実感として感じ取ることができるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>課題を見付けるために地域内・外の人に大蔵のイメージについてのアンケートを取り、その結果等も参考にしながら調べたい場所等を決めるようにしたが、児童が調べてみたい箇所が十数箇所に及んだため、調べる場所を地域のエリアごと整理させ、グループで分担して調査・見学させるようにした。また、グループ別の調査活動を実施したため、学級担任2名だけでは、引率が困難であったため、担任外の職員や保護者・地域の方々の協力を得て調査活動を行う必要があった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>大蔵のまちの自慢と思われる場所を、現地視察やインタビュー、地域の方を招いての学習会等を通して調べ、分かったことを発表していく中で、大蔵のまちのすばらしさを感じ取らせることができ、児童一人一人に地域に対する愛着や誇りに思う心を育てることができた。学習を通して見つけた「まち自慢」を多くの方に知らせたいという意欲が一層高まっていき、「大蔵のまち自慢案内マップ」づくりへとつながっていった。子どもたちは、マップづくりに熱心に取り組み、完成したマップを見て大歓声を上げていた。「案内マップを見た人から感想を聞きたいな。」という発言もでるなど、案内マップづくりは、非常に意義ある活動となった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>景観まちづくり学習助成事業を踏まえた授業を展開すること中で、担任教諭自身も地域の景観やまちづくりの様子等について再発見することがたくさんあり、地域のよさを改めて再認識する</p>

ことができた。また、3年生の実践報告を通して、景観まちづくり学習の重要性を全職員で共通理解することができた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項〕

本単元の実践は、来年度の3年生も実施予定である。総合的な学習の時間の授業は、主体的・協同的な学び（アクティブラーニング）を展開していかなければならない。本年度の実践をもとに、さらに児童一人一人に地域を深く見つめさせる探究的な学びが生み出される学習展開と学習活動を工夫していきたい。

④ 児童の作品



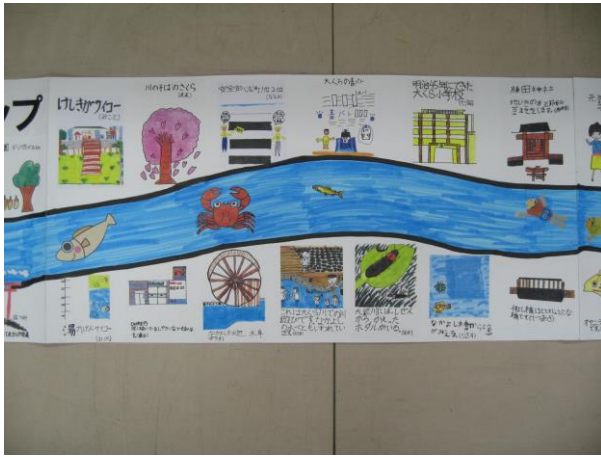
↑マップに掲載する絵図



↑「大蔵のまち自慢案内マップ」原画



- ・紹介した場所
大蔵交番 大蔵公園 神田市場
乳山神社 勝田公園



- 紹介した場所
 大蔵川の桜 大蔵子ども見守隊の青パト 大蔵小学校 勝田神社
 神田湯 なかよしの水辺 水車
 なかよし橋 大蔵川のホタル



- 紹介した場所
 大蔵川の魚 年長者の里 溝上酒造
 八幡くろがね調味(醤油工場)
 景勝町の坂と景色 豊町の田んぼ

※原画を拡大してパネルへ焼き付け、看板にした。(業者発注)



完成した「大蔵のまち自慢案内マップ(縦90cm 横540cm)」 ※運動場フェンスに設置



※後日校区内大蔵川沿いのフェンスに移